

幼児教育学科

科目名: 保育実習指導Ⅱ			担当教員 氏名: 藤井、石津、山本、小川、岡野、宮越						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	後期	専門科目	演習	選択	保育士資格指定科目(選択必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
保育実習は、『事前学習』『実習』『事後学習』という流れの中で行われる。保育実習指導Ⅱでは、保育実習Ⅱに向けて保育所の実習の意義、実習計画の立て方や保育の方法などを学び深めていく。また、保育実習Ⅰ-①、保育実習Ⅰ-②での反省を踏まえ、実習に対する心構えや実習計画の立て方等の再確認を行う。事後学習として、実習報告書の作成を通して、実習の成果をまとめ、各自の課題を整理していく。						・保育実習の意義 ・実習計画 ・実習報告書			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 4. 6. 9.				
A 知識・理解力	保育実習の意義や目的を理解し、保育を総合的に学ぶ。								
E 自己管理能力	今までの保育実習の経験を通して、自己課題を確認する。								
E 自己管理能力	保育実習に必要な手続きを行う。								
D 問題解決力	保育の改善について計画立案、実践や事例を通して学ぶ。								
C 論理的思考力	実習報告書を作成し、各自の課題をや保育に対する認識を明確にする。								
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	100 %
特記事項: 毎回の出席を原則とし、やむを得ず欠席した場合は課題を与える。 課題への取り組み、提出物(期限厳守)の内容等で総合的に評価を行う。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 課題や指導案等にコメントを記載して返却									
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)						
			学習内容		学習に必要な時間(分)				
① 保育実習Ⅰ-①の振り返りと自己課題の整理			【事後】①の復習		60				
② 子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解			【事前】②の予習 【事後】②の復習		120				
③ 子どもの保育と保護者支援			【事前】③の予習 【事後】③の復習		120				
④ 保育士の専門性と職業倫理			【事前】④の予習 【事後】④の復習		120				
⑤ 保育実践力の育成 (1) 個々の子どもに応じたかかわり			【事前】⑤の予習 【事後】⑤の復習		120				
⑥ 保育実践力の育成 (2) 集団に応じたかかわり			【事前】⑥の予習 【事後】⑥の復習		120				
⑦ 保育実践力の育成 (3) 保育の表現技術を生かした保育実践			【事前】⑦の予習 【事後】⑦の復習		120				
⑧ 事前訪問			【事前】⑧の予習 【事後】⑧の復習		120				
⑨ 保育の全体計画に基づいた具体的な計画の立案			【事前】⑨の予習 【事後】⑨の復習		120				
⑩ 実習指導案の作成 (1) 部分実習			【事前】⑩の予習 【事後】⑩の復習		120				
⑪ 実習指導案の作成 (2) 全日実習			【事前】⑪の予習 【事後】⑪の復習		120				
⑫ 実習の総括と自己評価			【事前】⑫の予習 【事後】⑫の復習		120				
⑬ 実習報告書の作成 (1) 事例を通して			【事前】⑬の予習 【事後】⑬の復習		120				
⑭ 実習報告書の作成 (2) 全体的考察			【事前】⑭の予習 【事後】⑭の復習		120				
⑮ 実習報告会			【事前】⑮の予習 【事後】⑮の復習		120				
使用テキスト: ①開仁志(編著)『これで安心保育指導案の書き方』<北大路書房>ISBN-13: 978-4762826214 ②開仁志(編著)『実習日誌の書き方』<一藝社>ISBN-13: 978-4863590427 ③佐藤賢一郎著『やさしい保育の教科書&ワークブック 保育所実習の事前・事後指導』<北大路書房>ISBN-13: 978-4762829918			その他参考文献など: ①開仁志(編著)『保育指導案 大百科事典』<一藝社> ②東山明ほか著『教育・保育実習実技ガイド』(ひかりのくに) ③出雲美枝子著『3・4・5歳児の保育ガイド 実習おまかせBOOK』(ひかりのくに)						
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本科目の単位を履修するためには、全ての授業に出席し課題に取り組むと共に、保育実習Ⅱを履修する必要があります。また、実習を行うにあたって実際に必要なことを学ぶ重要な授業であり、積極的な取り組みが求められます。上記時間外においても、実習内容等に関して予習・復習・準備などに積極的に取り組んで下さい。その他必要に応じて追加授業を行う場合があります。本科目の履修状況によっては、保育実習Ⅱの履修を認めないことがあります。									